

## 第45回全国歯科保健大会 大会宣言

第45回全国歯科保健大会は、雄大な自然と豊富な地下水、豊かな海を抱き、そこからもたらされた多様な食材をいかした郷土料理や、あふれる食文化を大切にしてきた熊本において、「～火の国・水の国 くまもとから～ 人生100年時代 おいしく食べて豊かな人生」をテーマとし、歯と口腔の健康と機能の維持・向上が食生活に関わる役割や意義について発信しました。

平均寿命が延び続けて、人生100年時代が現実になりつつある現代において、健康で自立した生活を送れる期間、いわゆる健康寿命を延伸することが課題となっています。厚生労働省が国民の健康増進を目的に2000年に策定した「健康日本21」という施策では、健康を支える大きな柱として、「食事」「運動」「睡眠・休養」の3つが示されました。その中でも、特に食事については、歯と口腔の健康や機能と深い関係があります。しっかり食べて栄養を摂ることは生きる源であることに加え、味や風味、食感を楽しみ、会話を楽しみ、「おいしく食べる」ことは人生を豊かにしていきます。そのためには、口腔衛生と口腔機能の健康管理が欠かせないことを国民に再認識してもらいたいと考えます。

本大会を機に、すべての年代を通して、おいしく食べて、豊かに暮らすためのあらゆるサポートをし、全身の健康の維持・向上のための歯科口腔保健施策を展開して、その大切さを広く発信し続けることをここに宣言します。